

印

○保護者等の家計急変の状況について（家計の状況に関する確認書類等）
課税証明書を添付する者の氏名及び生徒との続柄を記入してください。

氏名（保護者等A）	続柄	氏名（保護者等B）	続柄
-----------	----	-----------	----

家計急変事由が発生した保護者等の家計急変発生年月日及び事由を記入してください。

・家計急変事由発生年月日 年 月 日	・家計急変事由発生年月日 年 月 日
・事由：	・事由：

① 所得課税証明書 ※扶養親族等の記載の省略がされていないもの

☐	親権者（両親） 2名分 生徒が未成年（18歳未満であり、親権者（両親）が2人存在する場合）
☐	親権者 1名分 （親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長等の場合を除く） ・離婚、死別等により親権者が1名の場合、 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合等
☐	未成年後見人（ ）名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合（未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分） ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合、その者を除く
☐	生徒の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）（両親等） 2名分 生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
☐	主たる生計維持者 1名分 ・生徒が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・入学時点で生徒が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合、 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者が1人だった場合、 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しなかった場合 等
☐	生徒本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合等

② 保護者等の家計急変の発生事由や時期を証明する書類

☐	※失職・離職、退職、倒産・廃業、生業不振・経営悪化、転職・就業条件の変化、疾病・長期療養などを証明できるもの 例）離職票、雇用保険受給資格者証、解雇通告書、退職及び退職金支給証明書、退職所得に対する住民税の特別徴収に係る証明書類、破産宣告通知書、廃業等届出、診断書、入院診療計画書等
--------------------------	--

③ 保護者等全員の家計急変後の収入を証明する書類

☐	※事由発生月から向こう12ヶ月間の収入見込みを証明できるもの 例）会社作成の給与等支払（見込）証明書、事由発生から申請までの間の給与明細（最低3ヶ月分）、税理士又は公認会計士作成の証明書類、自営業の場合は毎月の収支を整理した帳簿書類等、収入がない場合は申立書
--------------------------	--

○振込口座について（原則申請者口座。申請者以外の口座を指定する場合、委任状が必要）

振込口座情報（本支店名・口座番号・口座名義人（カナ））
が確認できるもののコピーを貼付

例：通帳表紙の裏ページ見開き部分、キャッシュカード、オンラインバンキングの画面等

金融機関名	銀行・農協・労働金庫 信用金庫・信用組合	口座名義	フリガナ
本支店名	本・支店（出張所）		
預金種別	普通・当座・貯蓄		
口座番号(7桁)			

※ 学校設置者による代理受領を希望する場合に限り、以下にチェックし、委任状を提出してください。

☐	学校設置者による代理受領を希望します（委任状を提出します。）。※振込口座の記載は不要
--------------------------	--

（※群馬県内の学校の場合のみ記入） 学校受付日 年 月 日

記載例

日付を記入してください。

記入日 令和7年7月20日

※ 当年7月1日以降の日付

群馬県私立高等学校等奨学のための給付金受給申請書 (家計急変世帯)

家計急変世帯用の申請書です。

※ 生活保護世帯、非課税世帯として申請する場合は、申請書が異なります。

〇言明

申請にあたり、以下の内容を確認の上、□にチェック（レ印）を記入してください。

- ・この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
- ・当申請書の内容について事実と異なる記載があった場合は、県の求めに従い、訂正を提出し、訂正後の申請書を送付してください。
- ・記載した対象生徒に対する奨学のための給付金の今年度の申請は本申請の旨、また、行わないことを誓約します。（ただし、災害等に起因する給付額減額を除く）の支弁対象ではありません。
- ・対象となる高校生は児童福祉法による児童入所施設措置費（目学旅行費等）を除く）の支弁対象ではありません。
- ・当申請書の内容について、県が必ず確認してチェック（レ印）してください。
- ・県（就職等）、速やかに申し出ます。
- ・生活保護（生業扶助）を受給していないことを誓約します。
- ・私と対象となる高校生等は、健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係と同等の関係にあることを誓約します。

健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係とは、右図のような関係を指します。

健康保険被保険者証	家族（被扶養者）	令和7年7月20日交付
記号	番号	（校番）
氏名	群馬 花子	
生年月日	平成20年10月10日	
性別	女	
生年月日	令和7年7月20日	
被扶養者氏名	群馬 太郎	
事業所名称	株式会社	
保険者番号		
保険者名称		
保険者所在地		

健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係

☑ 上記のすべての事項について誓約します。

〇申請者について（注：原則、高校生等の健康保険法等における扶養者を記入してください。）

申請者住所等	〒371-8570 群馬県 前橋市大手町 〇-△-〇 〇〇アパート 〇号室 電話 080 (0000) 〇〇〇〇	ふりがな	ぐんま たろう
申請者氏名	群馬 太郎	申請者氏名	群馬 太郎
高校生等との関係	親権者	電話番号は、連絡をとりやすいものにしてください。（不足書類等があった際の連絡に使用します。）	高校生等の健康保険法等における扶養者を記入してください。

〇対象となる高校生等について

ふりがな	ぐんま はなこ	生徒氏名	群馬 花子	生年月日	昭和 20 年 10 月 10 日 平成	
学校名・学年	〇〇高等学校 (2) 年					
学校種類、課程等（該当にチェック・レ印）	☒ 高等学校（全日制・定時制） ☐ 中等教育学校（後期課程） ☐ 高等専門学校（1～3学年） ☐ 高等学校（通信制） ☐ 専修学校一般課程（通信制学科） ☐ 専修学校高等課程（昼間学科・夜間等学科） ☐ 専修学校一般課程（昼間学科・夜間等学科） ☐ 各種学校（外国人学校・その他）					
学校所在地	群馬 都道府県 前橋 市区町村 大手町〇-〇-〇					
在学期間	令和6年4月1日～現在					
過去の高等学校等における在学期間	学校名	立	～	年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数
	立	～	年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数	なし (回) 不明

〇学校証明欄（注：以下の項目をすべて証明するものであれば、学校独自の証明書の添付でもかまいません。）

次の各項目について相違ないことを証明します。

- ① 本校が、高等学校等就学支援金を受給していること
- ② 上記生徒が記載の課程に在学中であること
- ③ 上記生徒が当年7月1日現在7月2日以降の家計急変の場合、基準日現在）高等学校等就学支援金または学び直しのための支援金の受給権を有していること

現在の学校の入学以前に、高等学校等に在学していた場合、記入してください。

学校に持参して、学校の証明を受けてください。

印

課税証明書を添付する者の氏名及び生徒との続柄を記入してください。

~~家計急変事由が発生した保護者等の家計急変発生日及び事由を記入してください。~~

所得課税証明書 ※扶養親族等の記載の省略がされていないもの

※扶養親族等の記載の省略がされていないもの

※事由発生月から向こう12ヶ月間の収入見込みを証明できるもの
例) 会社作成の給与等支払(見込)証明書、事由発生から申請までの間の給与明細(最低3ヶ月分)、税理士又は公認会計士作成の証明書類、自営業の場合は毎月の収支を整理した帳簿書類等、収入がない場合は申立書

キャッシュカードの写

振込口座について、申請者以外の口座を振込先とする場合は、委任状を作成し、委任状の「受任者」名義の口座を記入してください。

(* 群